

ぎょうむそくほう

【ダイジェスト】

No.570

2022年 4月 15日

東海旅客鉄道労働組合

<https://union.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！

~~Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION~~

業務委員会を開催

令和4年度要員計画について議論

~~Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION~~

JR東海ユニオンは4月15日、「令和4年度要員計画」について業務委員会を開催し、会社と議論を展開した。

同計画では、駅営業体制の見直しやコロナ禍において東海道新幹線の列車本数を減少させたことに伴い乗務員の所要が減少したこと等により、基準人員が△100名となった。また、社員数については、中央新幹線の工事に伴う対応増を見越して電気系統で増、その他非現業において増加しているものの、全体としては新規採用者数の減等により△50名となった。

また、システム化・省力化施策については、「現業事務業務執行体制の見直し」等の説明を受け、施策内容を確認したほか、令和4年度における駅から運輸区所への再異動については、必要により、駅異動から数年経過した社員や、7年目以降の社員の一部についても対象となることが明らかとなった。

加えて、令和4年度の運営方針においても「業務改革の推進」を強力に推し進めていくことが示されているが、雇用の確保を大前提としつつ、引き続きJR東海グループの総力を結集し、ICTを活用しつつ取り組んでいくことを確認した。また、グループ収益力強化や営業施策推進のため、必要な要員措置を行い、施策推進を図ることを確認した。

JR東海ユニオンは、各種施策の実施に向け、引き続き各地方本部においても議論を深めるとともに、組合員が安心して働くことが出来るよう、必要な改善に向けて会社働きかけていく。

・ 令和4年度初 要員計画数

基準人員 16,300名（前年比 △100名）

社員数 22,000名（前年比 △50名）

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。